　　２０１８年度の事業計画書

　　２０１８年９月１日から　２０１９年８月３１日まで

特定非営利活動法人　うつくしい京都

１　事業実施の方針

・以下の事業を確実に実施することを目標とする。

２　事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事 業 名  (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の  実施予定日時  (B)当該事業の  実施予定場所  (C)従事者の  予定人数 | (D)受益対象  者の範囲  (E)予定人数 | 事業費の  予算額  （単位：千円） |
| ①情報交流啓発事業 | ホームページ、Email（ﾒｰﾘﾝｸﾞﾘｽﾄ等）、およびFacebookを通じ、各事業の発信、会員相互の情報交流を行う。また、ホームページをリニューアルし、発信力を向上させる。 | (A)随時  (B) 事務所  (C) 2人 | (D)ホームページおよびFacebook閲覧者  (E)不特定多数 | 30 |
| ①情報交流啓発事業 | 毎月15日を定期の例会（一五（イチゴ）サロン）と定め、本会の企画運営に係る検討を行うと共に、会員以外の参加者と共に、自由闊達なサロンを開催し、京都の暮らしの文化について意見交換や情報交流を図る。 | (A) 毎月15日（月によっては変動あり）  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 10人 | (D)会員及び一般参加者  (E) 120人 | 125 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 京都の生活文化を学び、これからの京都を考える場として連続講座『吉田塾2018』  および『吉田塾2019』を開講する。 | (A) 年5回  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 10人 | (D)会員及び一般参加者  (E) 100人 | 90 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 祇園祭の懸装品に用いられる染織品について研究する「うつくしい京都　染織品研究会」を開催する | (A) 年５回  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 3人 | (D)会員及び一般参加者  (E)50人 | 15 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 京都地域創造基金助成事業費（吉田家改修等） | (A)随時  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 4人 | (D)会員及び一般参加者  (E)10人 | 50 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 祇園祭の屏風祭の期間に、京都地域創造基金の吉田家保全ファンドへの寄付者と交流する「祇園祭の夕べ」を開催する | (A) 7月21日  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 8人 | (D) 吉田家保全ファンドへの寄付者  (E)8人 | 30 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 祇園祭の屏風祭開催をサポートする。 | (A) 7月20日～24日  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 10人 | (D)祇園祭の後祭見学者  (E)不特定多数 | 50 |
| ③京都のまち並研究支援事業 | 吉田家見学受付 | (A)通年  (B) 未定  (C)3人 | (D) )会員及び一般観覧者  (E)100人 | 65 |